

物語文を読んでえらぼう

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 補欠のピアノを よんで、そのときの千夏の心情を1つえらびましょう。

コンクールの伴奏者に、親友の里穂がえらばれた。自分も練習を重ねてきた千夏は、くやしさをかくして「おめでとう」と言った。けれど家に帰り、だれもいない部屋で鍵盤にふれたとき、こみ上げるものをおさえきれなかった。

1 里穂を心から祝う晴れやかな気持ち。

2 表では言えなかったくやしさがあふれてきた。

3 ピアノをやめようという決意。

4 里穂への怒りしかない気持ち。

2 祖父の時計を よんで、拓也がきっぱり答えたのはなぜですか。1つえらびましょう。

亡くなった祖父の古い時計を、修理に出すかまよっていた拓也は、店の人から「まだ動きますよ」と言われた。とたんに、時計をのぞきこんでいた祖父の横顔が思い出され、拓也は「なおしてください」ときっぱり答えた。

1 時計が高く売れると思ったから。

2 祖父との思い出を大切にしたいと感じたから。

3 新しい時計がほしくなったから。

4 店の人にせかされたから。

3 最後のリレーを よんで、そのときの翔の心情を1つえらびましょう。

小学校最後の運動会。バトンをわたした瞬間、翔はつまずいて転んだ。立ち上がったときには、もう順位は大きく下がっていた。それでも、ゴールで待つなかまの顔を見たとき、なぜか胸にあたたかいものが広がった。

1 順位が下がって、なかまをうらむ気持ち。

2 転んだ自分をせめ続ける気持ち。

3 仲間とやりきれたことに満たされる気持ち。

4 早くこの場から消えたい気持ち。